

可部南静養園新聞



令和5年
2月発行
第26号
可部南静養園
広報委員会

特養 季節を感じながら

新型コロナウイルスやインフルエンザの流行で、外出の機会は減りましたが、施設の中で出来る楽しみをご利用者様と一緒に考え行っています。

今年度もパズルや塗り絵、計算プリントを取り組まれる方、食器洗いを手伝って下さる方など、皆さまそれぞれ過ごされています。また、クリスマスには中庭にイルミネーションの飾りつけをしたり、お正月には福笑いをして楽しみました。



ご家族様より居室に季節を感じてもらいたいと職員へ渡された綺麗な顔立ちのお雛様と着物を飾らせていただきました。職員も居室に伺うたびにほっこりさせていただいています。



日々の様子を、可部南静養園ブログにも掲載していきますので是非、ご覧ください。

訪問 大切な繋がり

一月初旬、十年に一度の寒波で国道も凍結し、あちこちで渋滞が発生していました。ご利用者様に訪問日や時間の変更をお願いしましたところ、急なお願いにもかかわらず、快くご協力をいただきました。「支える側の私たちも実は皆様に支えられている」という人と人との繋がりの大切さを改めて感じました。

寒い季節はヘルパーの訪問で「今日初めて人と話した」と言われる方もおられます。お話をする中で、話題は料理のことになり、年明けには我が家のお雑煮について盛り上がりました。「うちは鶏肉とほうれん草」「うちは牡蠣が入るよ」と具材もそれぞれに違い、調理方法等で勉強もさせていただきました。



厳しい寒さの中、少しずつ確実に季節は春に向かっていくようです。ご利用者様宅で節分の可愛い鬼が出迎えてくれました。体調変化も起こりやすい季節です。十分注意して、暖かい春を元気に迎えましょう。



デイサービス

うさぎのように元気よく

今年もご利用者様と一緒に干支の「卯」を作成しました。とてもかわいらしいうさぎの置物が出来上がり、ご利用者様にプレゼントさせていただきました。

年明けにお迎えに伺うと玄関に飾っておられました。よく拝見してみると、その横には前年の干支の寅や丑も飾ってありました。「かわいいから今も飾っているよ」と話されました。大切にしていただいていることを嬉しく思いました。今年もうさぎのように元気な職員がご利用者様をお迎えし、楽しいデイサービスで過ごしていただけるよう準備をしてお待ちしています。



お楽しみ会を開催しました

前年度は感染対策として忘年会を延期いたしました。ご利用者様には大変お待たせをしておりましたが二月に五日間「お楽しみ会」として賑やかに開催させていただきました。職員が前座の漫談でご利用者様の気分を盛り上げ「真っ赤な太陽」の曲に合わせてフラダンスを披露しました。このフラダンスはご利用者様がお帰りになられたあとに日々、練習を重ねてまいりました。ご利用者様からは盛大な拍手をいただきました。開催初日はバレンタインデー当日ということもあり、おやつはハートのチョコプレートプリン、お楽しみ抽選会でプレゼントもあり、楽しい時間はあっという間に過ぎました。



ご利用者様と職員と一緒に作った看板が会場に花を添えてくれました。



衣装した職員ダンサーズに笑いが巻き起こりました。筋肉隆々の職員にダンサーズも失笑です。



ひょっとこ 人気沸騰！
「また会いたい」とファンが急増中！



デイサービスセンター可部南静養園
自慢の看板5人娘です。



ニット帽のプレゼントに「孫へあげる」とご利用者様。「使ってくださいよー」と職員。



デイサービスセンター可部南静養園
職員うさぎ全員集合です

ショート 日常を大切にしたい

ご利用者様の中には、ご自宅において家事を家庭内での役割として続けておられ、ご本人にとつての健康維持や生きがい繋がることにもあります。実際に当ショートステイでも、ご利用者様から「何か手伝うことない？お皿、洗いましょうか。」「洗濯物があつたら持ってきて」と笑顔で言われ、食器を洗い片付けたり、洗濯物を畳んで下さっています。とても手際が良く、その姿は、長年主婦としてご家族のお世話など家庭を担ってこられた証だと思われました。お礼を伝えると「また手伝うからいつでも言っただけ」と活き活きとした表情をされていました。これからもご利用者様が自信持ち、役割を發揮できる機会を提供していきたいと思ひます。



慣れた手つきはさすがです



手際が良く作業が早いです



仲よし姉妹のお二人です
いつも笑顔がステキです

栄養士 給食だより

年末年始のお食事

四季を感じていただけの食事提供を目指しています。最近では十二月三十一日に晦日そば、元旦におせち料理・お雑煮、一月七日に七草粥を提供しました。今後も皆様に喜んでいただけるような食事に努めてまいります。



大きな海老天の年越しそばです



黒豆、里芋、伊達巻卵色どりもきれいでした

二月の郷土料理

二月十三日(昼)のガタタンラーメンは北海道芦別市の郷土料理です。野菜や肉、魚介の具沢山のスープにとろみをつけ、仕上げに卵をふんわり流し入れた、あっさり塩味で素朴な味わいの中華ラーメンです。ガタタンの由来は、中華料理の含多湯(がたん)にあると言われ、戦後に中国東北部の家庭料理をヒントに創作したそうです。



検食職員より「やさしい味でおいしかった」と感想をいただきました

医務 床ずれゼロ

可部南静養園では「床ずれゼロ」を目指してケアを行っています。床ずれとは寝たきりや長時間同じ場所が圧迫されることや摩擦・ズレなどが加わることで皮膚のただれや、傷ができてしまうことです。床ずれになる要因として低栄養・寝たきり・オムツなどの潤・体重減少による骨突出があります。できてしまつたら治療が必要となります。職種の連携をとって工夫をいたします。人それぞれ個性が違います。早く同じケアはありませぬ。床ずれが早く治癒するにはどうするのかが重要です。これを目標としていきます。



エアマット
体重、体形、姿勢に合わせて自動調整して運転します



クッション
動きの促進、能力や可能性を拡げるために使用します

新任職員をご紹介します



医務室 幸坂 章夫
(こうさか あきお)
車の運転が好きで休日はドライブに出かけリフレッシュしています。



医務室 河村 靖子
(かわむら やすこ)
懸賞応募が趣味で時々ハンドソープやお菓子が当たって嬉しいです。



訪問 松本 裕子
(まつもと ゆうこ)
マイブームは青竹踏みで身体も気分もスッキリ！気分転換になっています。



特養 古屋 光那
(ふるや みな)
ご利用者様の心の支えになれるように頑張ります。読書が好きです。

居宅

事例検討会

毎年恒例となりました他事業所との事例検討会を開催いたしました。今回は「認知症高齢者の自動車運転について」です。ご本人とご家族の状況を理解し、ケアマネの役割としてどのような支援ができるのか。他事業所の介護支援専門員の考えも加え、視点を交えて意見を持ち寄りまし。コロナ禍で一堂に集まることはできなかつたのですが、事例を検討できる仲間がいたことが励みとなり、事例検討で目指すべき方向性が見えました。これからも全員で話し合い、ご利用者様により良い生活ができるよう支援していきたいと思ひます。



ご利用者様に寄り添い支援をしています



検討会を通じてあらゆる事態に備えます

緑ヶ丘静養園移転に伴う新施設進捗状況



新施設の工事では現在、上階の床の施工と配筋、階数分の型枠工事を行いコンクリートを流し込んでいます。

ご家族様よりお問合せ
令和4年10月～令和5年1月まで 苦情 0件 ご意見 0件

社会福祉法人 広島県同胞援護財団
★可部南静養園ホームページ
<http://www.dohen.or.jp/intro/older/kabeminami01/>
★WAKUWAKUブログも公開中です



よろしくお祈いします